



ドキュメンタリー

「ドキュメンタリーを
観て、語る」楽しさを
体験しませんか？

高校生
大学生
向け

ドキュ山ユース
映画鑑賞
7/7~7/31

9.26 土 14:00

主催：ドキュ山ユース 協力：認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
助成：令和8年度山形県若者がつなぐ・つながる地域おこし推進事業

参加費無料

詳しくはこちら▶

www.yidff.jp/news/26/260813



【問い合わせ】 認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
Phone: 023-666-4480 E-mail: info@yidff.jp

山形県生涯学習センター
遊学館

山形市緑町1-2-36
第3研修室

一本の映画を観た後に、みんなで映画について話すワークショップです。



上映

三人の女たち

監督: マキシム・メルニク / ドイツ / 2022 / 85分
山形国際ドキュメンタリー映画祭2023
インターナショナル・コンペティション

ウクライナ西部、カルパチア山脈の麓にある小さな村。大学院の修了制作のため母国に戻った監督は、村に暮らす3人の女性たちと出会う。

生物学者として研究に励むネーリャは、研究対象である熊のフンを探して野を歩き回ったりと、カメラも気にせず我が道を突き進み、郵便局員のマリーヤは、年金を手渡すため、監督たちを伴い村人宅を訪ねてまわり、グチの聞き役となる。ひとりで牛を飼育する農家のハンナは、憎まれ口をたたいて撮影を拒否するが……。

生活のためにこの地に留まるか、他国へ去るか人々が選択を迫られる村で、彼女たちの生の営みが、移ろいゆく季節とともに、あたたかく描かれていく。

いろいろな上映会やイベントを企画してみよう!
ドキュ山ユースメンバー募集中!!



ドキュ山ユースは山形国際ドキュメンタリー映画祭の高校生チーム

です。2017年の映画祭にボランティアとして参加した高校生を中心に結成され、以降メンバーを変えながら

継続してきました。学校、学年、部活や趣味も様々なメンバーが集まり、山形の映画文化やドキュメンタリー映画の魅力を伝えるべく活動しています。映画祭会期外は、学校内でのドキュメンタリー映画の上映会や、海外からゲストを招いたイベントを開催。会期中は、上映監督へのインタビューや、県内外から集う観客との交流イベントの主催、表彰式プレゼンター、会場ボランティアを行ってきました。随時メンバー募集中です!

@Docuyama_youth

ワークショップ

上映後、休憩を挟んで、ワークショップ(約90分)を開催します。

一本のドキュメンタリー映画から、何が見えて、何が聞こえるでしょうか。そして私たちはどのように感じるでしょうか。

『三人の女たち』が撮影されたのは、2019年頃。その後、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻など、映画の登場人物が暮らす村を含め、世界をとりまく情勢は大きく変化しました。

ワークショップを通して、監督の視点や描かれた人々について講師や参加者同士で話しあうことで、映画への理解を深めていきます。

さまざまな人たちが同じ場所に集まり、映画と一緒に観て、その経験を話し合うこと。それによってこれまでとは異なる映画の楽しみ方を見つけることができます。映画好きな人も、ほとんど映画を観たことがない人も、どなたでも大歓迎!



かのう ち
講師: 加納 土 (映画監督・俳優)

ドキュメンタリー映画『沈没家族』監督 / 著書『沈没家族 子育て、無限大。』(筑摩書房) / 映画『石がある』主演 / 植木屋見習い / 京都八丈島出身 / 32歳 / 本名です

▼〈西藏王・里山で映画を楽しむ会〉にて上映
『沈没家族 劇場版』監督: 加納土 / 2018 / 93分

90年代半ば、シングルマザーの母が始めた共同保育の試み「沈没家族」。あたらしい“家族のカタチ”を問いかけるファミリーヒストリー・ドキュメンタリー。

9月27日 [日] 10:30, 13:30

※10:30の回上映後、監督トークあり
入場無料・予約不要

会場: はらっぱ里山保育園
(山形市大字土坂元草矢倉字大ノ阪73)



お申し込みはこちら

www.yidff.jp/news/26/260813

(山形国際ドキュメンタリー映画祭Webサイト)



参加対象: 高校生以上25歳以下
参加費無料 定員20名
終了予定時刻17:30

山形国際ドキュメンタリー映画祭2027
YAMAGATA International Documentary Film Festival

2027年10月7日[木] - 14日[木]

www.yidff.jp

2年に一度開催される映画の祭典。世界中の映画と人が山形市に集います。

